

『みんなのSDGs大作戦！』

- いろんな立場からSDGsを考えよう -

このゲームは“SDGs”を自分の言葉で考えるきっかけを作り、自分たちの日々の行動が直結していることを気づかせ、そして行動することで達成できるということを意識させることが目的です。

ゲームの説明

『生徒会・児童会』を舞台に設定して、課題カードが作られています。最低参加人数は10名程度で、1グループは最大5名程度としてください。ゲームの中でグループをシャッフルとありますが、このゲームを何回かプレイする場合は、1回の授業の中でグループシャッフルを行わず、次の授業の際に前回と違う委員会になってみると、それぞれの立場についてじっくり考えることができますね！

授業の流れ（45分授業の場合）

① ゲームの説明 [5分] ➡ ② 遊ぶ [30分] ※次頁参照 ➡ ③ 振り返り [10分] ※次頁参照

ゲームで使用する物

- 課題カード : 必ずしも17全ての目標をあげる必要はなく、課題を数個にしぼってプレイしても構いません。
(17の目標別) より一つ一つの目標を意識し、行動につなげることができるかもしれません。
- 画用紙・ペン : グループ分。数回プレイする場合、画用紙は回数分用意してください。
- 卓上名札 : 委員会の名前を書いたもの（各グループの机の上に置きます。）
- 表彰状 : 上位の児童・生徒さんに差し上げてください。 ※課題カード・表彰状は、NAGANO SDGs PROJECTのWEBサイトよりダウンロードすることができます。

舞台設定を別の世界・社会にすることで、より様々な役割や立場の理解につながります。ぜひオリジナルカードを作ってプレイしてください！



2000年に国連で採択された「MDGs（ミレニアム開発目標）」が2015年に達成期限を迎えたことにより、それに代わる新たな目標として作られた2016年から2030年までの15年間で達成すべき世界共通の目標です。MDGsは先進国が一方的に決めたもので、発展途上国の事情が考慮されていなかったり、先進国による支援の色が濃いものであったため、途上国から反感を招いてしまいました。何より、これでは根本的な解決には至らない不完全なものだと言われました。一方、「持続可能な開発目標＝Sustainable Development Goals（略称：SDGs）」は、先進国と発展途上国が一丸となって達成すべき目標として、満場一致で採択されました。『誰ひとり取り残さない』ことを目指し、全部で17個の目標があります。これらの目標は全て「世界のみながずっと続いていくために、良くしなければいけないこと」なのです。

(URL : <https://www.naganosdgs.jp/nagano-sdgs-project#detail>)



このゲームを定期的に行っていただくことで、持続可能な行動につなげることができるかもしれません。みなさんの日々の行動が地球を救います！
ぜひクラスでゲームをやって、行動に移しましょう!!



事前準備

- 先生は、課題カードを必要な分だけ出力します。
- 委員会の数分の画用紙とペンを用意します。



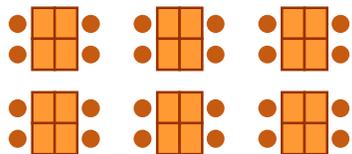
- 各委員会の名札を準備し、委員毎の机の上におきます。



- 児童、生徒を事前に委員会ごとにグループに分けます。実際に所属している委員会である必要はありません。(1グループ：4～5名)

代表委員・清掃委員・給食委員
放送委員・ベルマーク委員
体育委員・保健委員 など

委員会ごとに着席してもらいます。



ゲーム開始

先生は、課題カードを1枚選び、そこに書かれている課題を黒板に書き、読み上げます。先生が、「SDGs」と言ったら、話し合い開始です。



1

出された課題に対して、児童・生徒は、所属している委員会の立場として実施できる解決策を話し合い、考えただけ画用紙に書きます。(3分間)



※話し合いの時間は自由に設定してください。

2

それぞれの委員会の代表は、前に出て発表をします。



3

1つの解決策に対して+10ポイントがもらえ、そのポイントは1人ひとりが所有します。
※2つ答えたらそれぞれ+20ポイントずつ獲得

20pt! 20pt! 20pt! 20pt!



4

先生は、黒板に書かれた課題の下に解決策を貼ります。

5

先生の「SDGs」の掛け声で、1回目とは違う委員会の席に着きます。

※委員会のグループのシャッフルはイス取りゲームのように行なってもくじ引きで決めてもいいです。

今度は違う立場から課題を解決してみましょう！

先生が課題カードを読むところから再開です。
※これを3回程度繰り返します。

振り返り

誰が何ポイント取ったか、結果発表!!
上位●●名には、表彰状をあげましょう！



課題に対しての解決策を見直し、実際に自分達ができる行動はどれなのか、皆で話し合い、クラスや実際の委員会の週間あるいは、月間目標にして実際に行動しましょう！



SDGsに関する説明などは、ゲームの前あるいは、振り返りの時などどちらでも大丈夫です。

SDGsは、自分達の日頃の行動に直結しています。
『行動することで達成できる』ということを意識させることが、このゲームの目的です。